

Bi Arakawa-Nash: PAINTING POPSTARS

「荒川ナッシュ医 ペインティングス・アー・ポップスターズ」
荒川ナッシュ・パフォーマンス・カレンダー
 (2024年10月4日更新)

- ・各イベントの詳しい開催場所は会場入り口で確認できます。
- ・スケジュールは変更される場合があります。ご来館の前には最新情報をご確認ください。

《メガどうぞご自由にお描きください》

毎週日曜日開催 10:00 - 18:00 / 11月3日、10日、17日、24日、12月1日、8日、15日
 どなたでも自由に美術館の展示室の床に絵が描けます。お子様連れでも、そうでなくてもお越しください。11:30から12:00は作家も会場に登場。（ただし12月8日を除きます。）画材は用意しております。画材の持ち込みは不可。

《作家によるペインティングス・アー・ポップスターズ展覧会ツアー》

約30分の作家による即興的な展覧会のツアー。乗り降り自由。好きな時に参加して、好きなタイミングで離脱OK。専用スケジュールはこちら。英語によるツアーも対応します。

			12:30	14:30	16:30	18:30				12:30	14:30	16:30	18:30
10/30	水			○	○		11/23	土	勤労感謝の日		○	○	○
10/31	木						11/24	日		○	○		
11/01	金				○	○	11/25	月					
11/02	土			○	○		11/26	火	休館日				
11/03	日	文化の日	○	○			11/27	水			○	○	
11/04	月	振替休日					11/28	木					
11/05	火	休館日					11/29	金				○	○
11/06	水			○	○		11/30	土			○	○	
11/07	木						12/1	日		○	○		
11/08	金				○	○	12/2	月			○		
11/09	土			○	○		12/3	火	休館日				
11/10	日		○	○			12/4	水					
11/11	月						12/5	木					
11/12	火	休館日					12/6	金					
11/13	水			○	○		12/7	土					
11/14	木						12/8	日					
11/15	金				○	○	12/9	月					
11/16	土			○	○		12/10	火	休館日				
11/17	日		○	○			12/11	水					
11/18	月						12/12	木					
11/19	火	休館日					12/13	金				○	○
11/20	水						12/14	土			○	○	
11/21	木						12/15	日		○	○		
11/22	金						12/16	月			○	○	

毎日開催《オスカー・ムリーリョ：東京の人々へのテレグラム》

オスカー・ムリーリョの作品に絵が描けます。

不定期開催《荒川ナッシュのエルズワース・ケリーの旗》

美術館周辺で絵画作品がプリントされた旗が見れる日もあります。

《ユタ・クータのマッド・ガーランド（怒りの花綱飾り）》

11月2日（土）18:30 - 19:00（ピースボードの仲間が集合、そうでない方も歓迎です！）

11月23日（土）14:30 - 15:00（勤労感謝の日です。65歳以上の方、歓迎です！）

ユタ・クータの絵画作品を使って踊ります。

《生演奏で、ネメシス・ペインティング（宿敵の絵画）》

11月2日（土）19:00 - 19:30、12月13日（金）17:00 - 17:30、12月14日（土）17:00 - 17:30

生演奏とともに、絵画の中に観客が吸い込まれます。

《旅立つ秋イベント》

11月16日（土）18:00 - 20:00

通常はローテーションにより20分に1度しか聞けない新曲「小鳥曜日」を、このイベントでは閉館まで繰り返し楽しむことができます。当日はロビーにて荒川ナッシュと展覧会にお越しいただいた皆さまによる、「小鳥曜日」についてのトークイベントを開催いたします。旅立つ秋カクテルやプレゼントも用意しております。（ユーミン、松任谷正隆本人の出演は予定しておりません。）

《LGBTQIA+ ベイビー・シャワー・イベント》

11月30日（土）10:30 - 12:00

ベイビー・シャワーは妊娠7から9ヶ月の間に行われる赤ちゃんを迎える家族のお祝い、近年少しずつ日本にも普及してきています。このイベントでは、新しいゲイパパになる荒川ナッシュが、カリフォルニアの最新の代理出産や卵子提供の情報などを共有するトークや、荒川家とナッシュ家をゲストに迎え、楽しいゲームやイベントが行われる予定。興味のある方はどなたでも参加できます。

《富井玲子：『巻き込み型コミュニケーション』レクチャー・イベント》

12月8日（日）15:00 - 16:30

ニューヨーク在住の美術史家、富井玲子による『オペレーションから考える荒川ナッシュ医のパフォーマンス：巻き込み型コミュニケーション』と題したレクチャー・イベント。このイベントは日本語のみです。

「アーティストの仕事は〈表現〉と〈オペレーション〉の二つの位相でとらえるとなると、パフォーマンス・アートは、多くの作品において〈表現〉と〈オペレーション〉が一体化しているという特質を持つ。つまり、作品の様態が〈コミュニケーション〉となり、表現する内容と表現を伝達する手段が一体化してしまうのである。この現象は、すでに1950年代から具体や反芸術で始まっているが、21世紀のコンテンポラリー・アートではより顕著な傾向となっている。荒川ナッシュ医のパフォーマンスはその好例であるが、コミュニケーションのプロセスの中で、作家個人が表現を構想するのみならず、協働者とともに表現を現実化し、現場では観客をも巻き込み、ひいては客観的立場にあるべき美術史家までをパフォーマーに仕立ててしまう貪欲なオペレーションをモットーとしている。このことを、いくつかの作品例を具体的に紹介しつつ検証してみたい。」（富井玲子）

《東京の美大→ロサンゼルス的美大イベント》

12月14日（土）13:30 - 15:30

ロサンゼルスのアートセンター・カレッジ・オブ・デザイン、大学院アートプログラムで教える荒川ナッシュが、アメリカでの大学院への留学について説明します。現在、大学の3年生や4年生、または卒業生で大学院進学を考えている方におすすめですが、誰でも参加できます。イベント後半では参加型のパフォーマンスも行う予定です。このイベントは日本語のみですが、個別に英語での相談も承ります。

《最後の日曜日イベント》

12月15日（日）16:30 - 17:30

南川史門の巨大作品の傍で、トニー・コンラッドの1970年の16mmフィルム《Straight and Narrow》が一回だけ映写されます。また伊藤悠希、李思穎、欧静薇参加によるオスカー・ムリーリョの《東京の人々へのテレグラム》から触発されたダンス作品も発表します。その他、即興企画があるかもしれません。ぜひ本展覧会の最後のイベントにお越しください。